

# 鳥取港振興会 ニュース

港湾だより68号

(平成29年9月発行)



レインボージェット鳥取港入港  
(4月7日)

## INDEX

- 平成29年鳥取港振興会総会
- クルーズ船社へのトップセールス
- 「超高速船レインボージェット」入港
- 会員視察(隠岐)
- 「ばしふいっく びいなす」寄港
- 護衛艦「いなづま」「さみだれ」一般公開
- 鳥取港クリーンアップ作戦
- 鳥取港活性化検討会
- 北前船寄港地フォーラムin鳥取

発行：鳥取港振興会

## 平成29年度鳥取港振興会総会

### ～新年度事業計画、新役員を承認～

6月1日(木)、鳥取市内のホテルモナーク鳥取において、会員60名(委任状36名)、来賓の皆様にご出席いただき、平成29年度鳥取港振興会総会を開催しました。

理事会に引き続き開催された総会では、深澤会長(鳥取市長)の議事進行のもと、平成28年度事業報告・収支決算、平成29年度事業計画(案)・収支予算(案)、任期満了に伴う役員の改選(案)について審議いただき、議案はいずれも原案どおり承認されるとともに、今年10月、クルーズ客船「ぱしふいっくびいなす」が、3年ぶりに鳥取港に寄港することなどが報告されました。

また総会終了後には情報交換会を開催し、会員相互の親睦を深めていただきました。



【鳥取港振興会役員】

(敬称略)

| 役職   | 職名                         | 氏名    |
|------|----------------------------|-------|
| 会長   | 鳥取市長                       | 深澤 義彦 |
| 副会長  | 鳥取商工会議所会頭                  | 藤縄 匡伸 |
| 副会長  | 日本通運(株) 鳥取支店長              | 中本 孝  |
| 副会長  | 鳥取県県土整備部長                  | 山口 真司 |
| 理事   | 倉吉商工会議所会頭                  | 倉都 祥行 |
| 理事   | 三洋製紙(株) 取締役社長              | 井川 和永 |
| 理事   | 鳥取県漁業協同組合<br>代表理事組合長       | 景山 一夫 |
| 理事   | 鳥取市議会議長                    | 下村 佳弘 |
| 理事   | 三洋テクノソリューションズ鳥取(株) 代表取締役社長 | 有中 昭雄 |
| 理事   | 鳥取いなば農業協同組合<br>代表理事組合長     | 谷口 節次 |
| 監事   | 日本興運(株) 鳥取支店長              | 長野 達夫 |
| 監事   | 岩美町長                       | 榎本 武利 |
| 専務理事 | 鳥取県県土整備部<br>空港港湾課長         | 森田 豊充 |
| 常務理事 | 鳥取市都市整備部長                  | 綱田 正  |

### ～平成29年度事業計画概要～

- 1 ポートセールス活動
  - (1)貨物誘致活動
    - ・地元企業の鳥取港利用の掘り起こし、関係機関や関係団体と連携・協力して利用拡大を図る。
  - (2)クルーズ客船誘致活動
    - ・入港可能な3万トン以下のクルーズ客船(日本船、外国船)寄港に向け、誘致活動を行う。
    - ・「鳥取港クルーズ誘致推進会議」の参加団体及び観光関係機関・施設等と連携し、誘致活動を行う。
- 2 人的交流促進事業
  - ・超高速船レインボージェットをチャーターし、鳥取港・隠岐間で運航する。
- 3 調査研究事業
  - ・港湾の機能、利便性向上と利用促進に向け、他港の取組等の情報を収集する。
- 4 情報発信事業
  - ・鳥取港の利用促進と認知度向上のため、鳥取港の動向について、情報発信を行う。

## クルーズ船社へのトップセールス

7月5日(水)、深澤鳥取市長(鳥取港振興会会長)が、クルーズ船社を訪問し、鳥取の魅力をアピールしました。

訪問したのは、クルーズ客船「にっぽん丸」を運航する商船三井客船(株)(社長：山口直彦氏、本社：東京都港区)。

トップセールスでは、古き良き日本の原風景が残る鳥取の魅力や道路整備で近くなる県中部や但馬地方の観光地、寄港時のおもてなし態勢などを説明し、鳥取港への寄港を呼びかけました。



## 「超高速船レインボージェット」入港

4月7日(金)、鳥取港振興会では、「山陰海岸ジオパーク」と「隠岐世界ジオパーク」を海上ルートで約2時間で結ぶ鳥取隠岐間航路の可能性を検討するため、隠岐汽船が運航する超高速船レインボージェットをチャーター運航しました。

この運航は、超高速船が隠岐～本土1往復の春期ダイヤで七類港停泊中に実施するもので、平成27年4月、平成28年4月に続き、3回目となります。

鳥取港では、関西や県内から隠岐へ向かうツアー客や隠岐での交流ガイド研修に参加する山陰海岸ジオパークガイドなど、約60名が乗船。

記念セレモニーでは、入港した3号岸壁で、乗船者を前に、深澤鳥取市長の歓迎挨拶、賀露神社麒麟獅子舞や逢鷲太鼓連による和太鼓演奏の披露のあと、岸壁に集まった保育園児を始めとする約90名が緑のハンカチを振り、出港を見送りました。

また、チャーター便が到着した隠岐・西郷港でも、記念セレモニーが行われ、歓迎の横断幕や隠岐を代表する民謡「隠岐しげさ節」に合わせた踊りなどで乗船者をお出迎えいただきました。



鳥取港から隠岐へ



隠岐・西郷港でのお出迎え

## 会員視察（隠岐）

隠岐汽船を利用した鳥取港と隠岐間の臨時運航については、平成24年、鳥取港振興会から隠岐広域連合、隠岐汽船に運航要望を行っていたところです。

今回から鳥取港振興会での運航となったことから、鳥取港～隠岐・西郷港へのチャーター便を利用し、4月7日(金)～8日(土)に隠岐(隠岐の島町・西ノ島町)の会員視察を行いました。

隠岐の島町では、運航に協力いただいている隠岐広域連合長(隠岐の島町長)、隠岐汽船社長を表敬訪問し、感謝の意を伝えるとともに、その後の視察では、隠岐・西郷港の担当者からは西郷港の整備状況を、隠岐世界ジオパーク担当者からは隠岐独自の生態系などジオパークの魅力、隠岐汽船の担当者からは隠岐～本土間の物流・旅客の推移等を伺いました。

西ノ島町では、年間4隻程度継続して寄港しているクルーズ客船の受け入れ状況について、西ノ島町観光協会の担当者にお話を伺いました。(参加者：鳥取港振興会会員等8名)



西郷港・港湾担当者による説明



隠岐ジオパーク担当者による説明

## 10/16 クルーズ客船「ぱしふいっく びいなす」寄港

10月16日(月)、クルーズ客船「ぱしふいっく びいなす」が鳥取港に寄港します。

鳥取港へのクルーズ客船の寄港は3年ぶり、今回の寄港は「秋の日本一周探訪クルーズ」(主催：日本クルーズ客船(株))の寄港地として選定されたことによるものです。



「ぱしふいっく びいなす」

- ・船社：日本クルーズ客船(株) [大阪市]
- ・総トン数：26,594トン、全長 183m、幅25m
- ・乗客数：620名、客室数：238室

鳥取港振興会では、入港時のお出迎えや出港時のお見送り、岸壁での郷土芸能披露等の歓迎イベントで、乗船客の皆様を歓迎することとしています。

◆場所：鳥取港1号岸壁

◆時間：入港 8:00、出港 17:00

◆「秋の日本一周探訪クルーズ」日程

10/10 神戸～10/11 横浜～

10/13 苫小牧～10/15 直江津～

**10/16 鳥取**～10/18 平戸～

10/19 宇部～10/20 神戸～

10/21 横浜



## 護衛艦「いなづま」「さみだれ」一般公開

7月22日(土)・23日(日)、鳥取港1号岸壁で海上自衛隊の護衛艦「いなづま」「さみだれ」(どちらも4,550トン、定員165名)の一般公開が行われ、2日間で延べおよそ6,500人が訪れました。

鳥取県で、この2隻の護衛艦が同時に公開されるのは初めてで、岸壁や艦上では、長さが151m、幅17.4mと、迫力ある護衛艦や、搭載された哨戒機、航空自衛隊のペトリオット(PAC3)などと一緒にカメラで撮影する家族連れや、自衛隊の紹介コーナーではマスコットキャラクターの「トピコ」と触れあう子どもたちなど、多くの人で賑わいました。



マスコットキャラクター「トピコ」



搭載された哨戒機



護衛艦の「いなづま」と「さみだれ」

## 鳥取港クリーンアップ作戦

6月14日(水)、「鳥取港クリーンアップ作戦」が実施されました。

これは、環境保全活動の取り組みとして、鳥取港湾事務所が毎年実施しているもので、今年も港湾関係団体や事業所の方々などを中心に、37団体、140名の皆さんが千代地区、西浜地区の2地区に分かれて、廃棄物の回収に取り組みました。

回収された廃棄物の量は、約570kg。壊れた釣具や金庫など、いろいろなものが回収されました。

港を訪れるみなさんが、気持ちよく、港を利用していただけよう、環境保全への意識を高めていきましょう。



植込みの中にも…



金庫まで…

## 鳥取港利用促進検討会

近年、鳥取港では、原木輸出やバイオマス燃料・PKS（パームヤシ殻）輸入と、新たな貨物の取扱いが始まりました。

また、鳥取砂丘コナン空港では、「空の駅」化プロジェクトが進められており、鳥取砂丘コナン空港と鳥取港を結ぶ連絡道路の整備や、国内線ターミナルと国際会館の一体化工事が進行中です。

これらの動きを加速させ、鳥取港の物流・人流の促進を図るため、現在、鳥取県では、「物流」「賑わいづくり」の2つのテーマで検討が行われています。



### 【物流検討会】

#### ◇目的

鳥取港の利用拡大による物流コスト縮減に向け、今後の動向を見据えた計画の策定

#### ◇検討状況

第2回検討会（H29.8）では、前回（H28.11）の意見を踏まえ実施した企業アンケートやヒアリング、他港の状況などが報告された後、利活用に向けた港湾施設再編案についての意見交換が行われ、今後は、今回の意見を踏まえ、港湾施設の有効活用、港湾機能の強化・充実や、企業へのポートセールスの強化について検討していくこととなりました。

### 【賑わいづくり検討会】

#### ◇目的

鳥取港が鳥取県東・中部の賑わいの拠点とし、ツインポート化を促進させるための計画の策定

#### ◇検討状況

第1回検討会（H29.9）では、鳥取空港を含む鳥取港周辺のエリアにおける賑わいづくりに向けた課題の抽出・設定が行われ、今後は、4項目（①鳥取港各地区の連携強化による賑わいづくりの促進、②鳥取空港との連携による集客力アップ、③集客増加への対応、④情報発信の強化）を重点課題として、対応方針等を検討していくこととなりました。

## 鳥取港と鳥取砂丘コナン空港を結ぶ連絡道路

来年3月の開通を目指し、鳥取港と鳥取砂丘コナン空港を結ぶ連絡道路（県道鳥取空港賀露線）の整備（約1.5km）が進められています。

この連絡道路の開通により、鳥取港と鳥取砂丘コナン空港が最短距離で結ばれることから、「ツインポート」としての相乗効果により、相互の情報発信、利用促進など連携強化による交流人口の拡大や、アクセス強化による観光客等の集客力向上が期待されます。



## 鳥取砂丘コナン空港ターミナルビルの一体化

鳥取砂丘コナン空港では、空港機能の向上を図るため、来年7月のグランドオープンを目指し、国内線ターミナルと国際会館の一体化工事が進められています。



### 【事業概要】

- ・増床し、テナント部を拡充。
- ・鳥取の食や特産物等を積極的にPRする空間を作り、航空機利用者だけでなく、地元住民も楽しめる施設を目指す。

